

1月18日(月曜日)「息子の嫁探し」

【新改訳 2017】

創世記 24・2-67

「アブラハムは彼(しもべ)に言った。『……私に誓って……約束して仰せられた天の神、主は、御使いをあなたの前に遣わされる。あなたは、あそこで私の息子のために妻を迎えなさい。』」(6、7 節)

アブラハムも老人となり、息子イサクのお嫁さんのことが気になってきました。そこで、家中で最も信頼できる最年長のしもべを自分の生まれ故郷に送り、ふさわしい女性を見つけ来るように言いつけました。

初めての方も、この記事はぜひ読んでみてください。ずいぶんいろいろなことを教えられます。

イサク自身の意思などは書かれていないため、時代の違いはぬぐいきれませんが、親が、仲人が、あるいは本人がどう探したらよいかの有用なヒントがたくさんあります。まず神の導きを信じ見極めること、神のみこころに歩む伴侶を求めること、常識や礼を失しないことなど……。 「良い妻を見つける者はし

あわせを見つけ、主からの恵みをいただく」(箴言 18・22)のです。

～祈り～

主よ。多くの兄弟たちがキリスト者同士の結婚を祈り求めています。どうか、導き助けてください。また、アブラハムのしもべのような人を起こしてください。

【学びのために】

今日の伴侶探しはどうしたらよいでしょう。当事者が真剣に祈り求めるべきことはもちろんですが、先輩たちも、祈りをもって具体的に援助・協力する必要があるのではないのでしょうか。ここには、時代を越えた教訓があります。